

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎っ子

第 3 号

令和 6 年 4 月 23 日
南島原市立堂崎小学校
校 長 末吉 優

避難訓練 4月16日(火)

8年前の熊本地震(2回目の震度7)発生の4月16日、本校では地震発生による津波を想定した避難訓練を行いました。

一次避難を運動場中央へ(安否確認まで約3分)、地震発生から20分後、津波が到達するという想定により、八幡神社へ二次避難(約13分)を行いました。

地震は、「いつ起こるか、どこで起こるか分からない」ということ、「どこに避難するのか」を常に考え、家族で話し合っておく必要があることを確認しました。

江戸時代の「島原大変肥後迷惑」と言い伝えられる地震・津波の被害の記録には、熊本だけでなく、島原側でも津波の被害が大きく、布津・大崎鼻では57mと記録が残っており、堂崎でもそれに近い記録が残されています。



【二次避難場所:八幡神社からの帰校の様子】

絵本や紙芝居の読み聞かせ(読み語り)から

古賀高子様(下原尾自治会)が来校され、読み聞かせをしてくださっています。低学年を中心に、紙芝居や絵本の読み聞かせをしていただいているとのことでした。

本は心の栄養と言われますが、読書に親しみ、言葉(言語)を大切にする子供たちが育っていくといいなと思っています。

朝の貴重な時間に、子供たちのために御尽力いただき、感謝申し上げます。



地区児童会の様子より

高学年を中心に司会進行や記録を行っていました。1年生を含めて、集合時刻、登下校の注意事項、安全な歩き方等の確認をしました。まさに、自治意識の基本です。

家庭における子供への言葉かけにより学ぶことが多く、何よりも各自治会における先輩・後輩としての望ましい人間関係の形成に役立っていくものと実感しております。

引き続き、学校・家庭・地域が一つになって、「堂崎っ子」を育ててまいりましょう。



1年生給食準備より

ほとんど自分たちで配膳している1年生です。
6年生は、一度盛られた量を尋ねながら、うまく調整しています。とってもありがたいです。



歓迎集会・歓迎遠足 4月19日(金)

歓迎集会では、1年生紹介や2年生からのアサガオの種のプレゼント、6年生が中心になって考え、進行した「たてわり遊び」などをして、楽しいひとときを過ごしました。

「マリンパークありえ」までの遠足は、「自転車・歩行者専用道路」利用し、6年生が1年生の手をつなぎながら歩きました。5年生や6年生に、「自分たちが、こうして手をつなぎながら歩いたことを覚えていますか?」と尋ねますと、「当時の6年生の顔は覚えている。手をつないで歩いたことも、ぼんやりと覚えている。」と答えました。普段長い道のりを歩き慣れていない子供たちにとってはきつかったことと思います。1年生もしっかり歩きました。出会った地域の方々にも、気持ちのよいあいさつを交わし、尋ねられたことに分かりやすく丁寧に答える姿が印象的でした。

天候にも恵まれ、「やさしく礼儀正しい子供の育成」、「たくましい子供の育成」の1ページとなったことでしょう。



【アーチをくぐっての入場】



【2年生からのプレゼント:アサガオの種】



【プログラム】



【6年生による1年生紹介】



【たてわり遊びの1シーン】



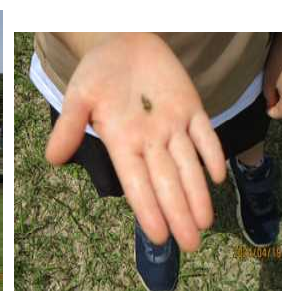
【自転車・歩行者専用道路】



【まもなくゴール】



【案内板の下で】



【生き物発見】